

はあ……、疲れた……
結局また朝帰りだよ……
あのクソ上司、毎回毎回俺に尻拭い
ばっかりさせやがって……
あーもうやだ、やってらんねえ

はあ……、それにしても
となりのJKのおっぱい
でかいな……
揉んだらきつと柔らかくて
気持ちいいんだろなあ……

ああ……
やっぱり……!!

あつ……!?
まずい……、疲れすぎて
思考が……
もしかしてまた『アレ』を
やっちまったのかも……

……

あの……私のおっぱい
揉みたいんですよね?
ここではあれですので
次の駅でお願いします

数ヶ月前、俺は連日の激務でついにぶっ倒れたらしくそのまま病院のベッドで目を覚ました、目が覚めた時俺は頭の中で何かが変わっているのを理解した。それがこの能力に目覚めた切っ掛けだった。それ以来俺はこの奇妙な力に振り回され続けている……

すた
すた

便宜上『サトラセ』と名付けた
その能力は俺が誰かに強い欲求を抱くと
その思考が相手の頭の中に流れ込み
相手の意思を上書きしてしまう

あ、私の名前ですね
私は四宮桔梗って言います
はい、ありがとうございます
ちよつと古風だけど私も
この名前気に入ってるんです

スリーサイズは上から
90・54・86です
あ、今日の下着は白で
レースがついたちよつと
可愛いタイプのやつです

う、駄目だ
完全に俺の思考が
この娘に流れ
込んでる……!!

とりあえずあそこなら
人目につきづらそうですね
さ、早く行きましょう

そして思考を上書きされた相手は
俺の欲望がそのまま自分の意思
に書き換わり、俺の欲望を
解消するために行動しはじめる

うん、大丈夫みたいです
ね
丁度周りからは死角に
なってるみたいです

あ、ああ
……

でも運が悪いと
見つかったらやうかも
しれませんね♪

はい、どうぞ
これが佐藤さんの見たかった
私のおっぱいです
好きなだけ揉んだり舐めたり
しゃぶったりして下さい

ふふ、でも佐藤さんって
こういうシチュエーション大好き
ですもんね、佐藤さんの興奮が
伝わってきますよ

なにより厄介なのは
この能力が自分では
制御できないこと……

そして俺の欲求が
満たされるまで
この能力は決して解除される
ことはないということだ

「んんん」

「グイッ」

「んんん」



ふふ、今まで分からなかったけど
私のおっぱいって
こんなにエッチだったんですね

えへへ♡

いつもクラスメイトの男子たちが
私の胸をチラチラ見ている理由が
分かった気がします
こんなにスケベなおっぱいしてたら
たしかに見ちやいますよね

う、うお……
すごい……っ

さ、どうぞ
私のエッチなおっぱい
たくさん揉んで気持ちよく
なってください
ふふ、心配いりませんよ

くすっ♡

むにゅっ♡

今の私は貴方の欲望を
満たすための端末です♪
私を使って溜まった欲望を
ぜーんぶ吐き出しちゃいましょうね

くっ、ま、まずい……
止めなきゃって
分かっているのに
手が止まらない……っ

はーっ
はーっ

このままじゃ
また……



おっぱい揉んだら
キスもしたくなりますよね
ふふ、わかりますよ♡

はい♡ これが
私の、四宮桔梗のファースト
キスです♡ どうぞ♡

っ!!

むぐっ!?

むちゅっ♡

能力は彼女を操り
そして操られた彼女の行動が
俺の欲望をさらに増幅させ
それによって能力が連鎖していく
彼女の意思と行動が
次々と書ききされていってしまう。





あ、もうパンツの中も
見たくなっただんですね♪

それだけ私の身体で
興奮してくれてるって
ことですし、ふふ♡
嬉しいですよ♡

はい、これが私の、四宮桔梗の
おまんこです♡
ここまで来たら後は
この準備万端のおまんこに
佐藤さんのガチガチになっただ
おまんぼをいれるだけです♪

さ、どうぞ佐藤さん
たまたま電車で見かけただけの
このデカパイJKの身体で
沢山気持ちよくなってください♡

き、桔梗ちゃん、俺はそのっ
本当はこんなことを
するつもりじゃ……
だ、だからっ……



き、桔梗ちゃん
っ♡

あっ♡

す
ちゅ♡



大丈夫ですよ
佐藤さん♡ 嘘をつかなく
ていいんです♡

必死に理性で抑えて
いても貴方の本心は
十分わかってます

ね、佐藤さん♡

だからほら、
この能力を使って
この女の身体で沢山
楽しんじゃいましょう



あ、今、電話に出てほしいって
思いましたよね？
ふふ、電話したままセックスしたい
だなんて、私バレたら学校生活
終わっちゃいますよ？

あ、え？
いいや……

ふふ、大丈夫です♡
言わなくても私には全部
わかります、私は貴方の
欲望を映す鏡なんですから

もしもし、愛花？
あ、うん♪ 大丈夫……っ♡
ちよつと気分が悪くなっちゃって
あっ♡ そう、ちよつと
休んでたんだった……あっ♡



理性ではいけないことだと
理解しながらも
俺の前の少女の行動は
俺の理性を溶かし
どんどん欲望を刺激していく

えっと、あ
友達の愛花からみたいですが
今日は朝から文化祭の準備が
あったので早めに集まる
予定だったんです

私が遅くなったのを
心配して掛けて来てくれたん
ですね、ふふ♪愛花ってば
友達想いのいい子なんですよ

着信

浅木愛花



おれはもう
あがなうことは
出来なかった……

でっ射精るっ!!

ああああつ

っ♡

イクイク♡





あ、そうだ、言い忘れてましたが
愛花から佐藤さんに伝えたいことが
あるらしいので代わりますね

え？

はい、どうぞ

それに私の身体はまだまだ
遊べそうですし
また今度私を使って
遊びましょうね佐藤さん♡

はあ♡ はあ♡
ふふ、最高でしたね佐藤さん
このたまたま出会ったJKと
通話中にセックスする
シチュエーションは最近では
かなり当たりの部類でした♪

その画面を見たとき
俺の思考が止まった

そこに映っていたのは
確かに先程まで
話していたであろう
彼女の友人のありえない姿

ありえない……サトラレは
対象が近くにいる必要が
あったはず……まさか……
そんな……

はじめましてっ!!
桔梗のクラスメイトで親友の
浅木愛花っていい嘛っ!!
私の電話が佐藤さんのおちゃんぽ
の役に立てて良かったですっ!!

あと、佐藤さんは
私の身体も使ってみたって
思いましたよね!!
今からそっちに向かうので
ちよつとまって下さいね!!

俺はこの能力を
見誤っていたのかも
しれない……

おわり